J06316

TOTO

施工説明書

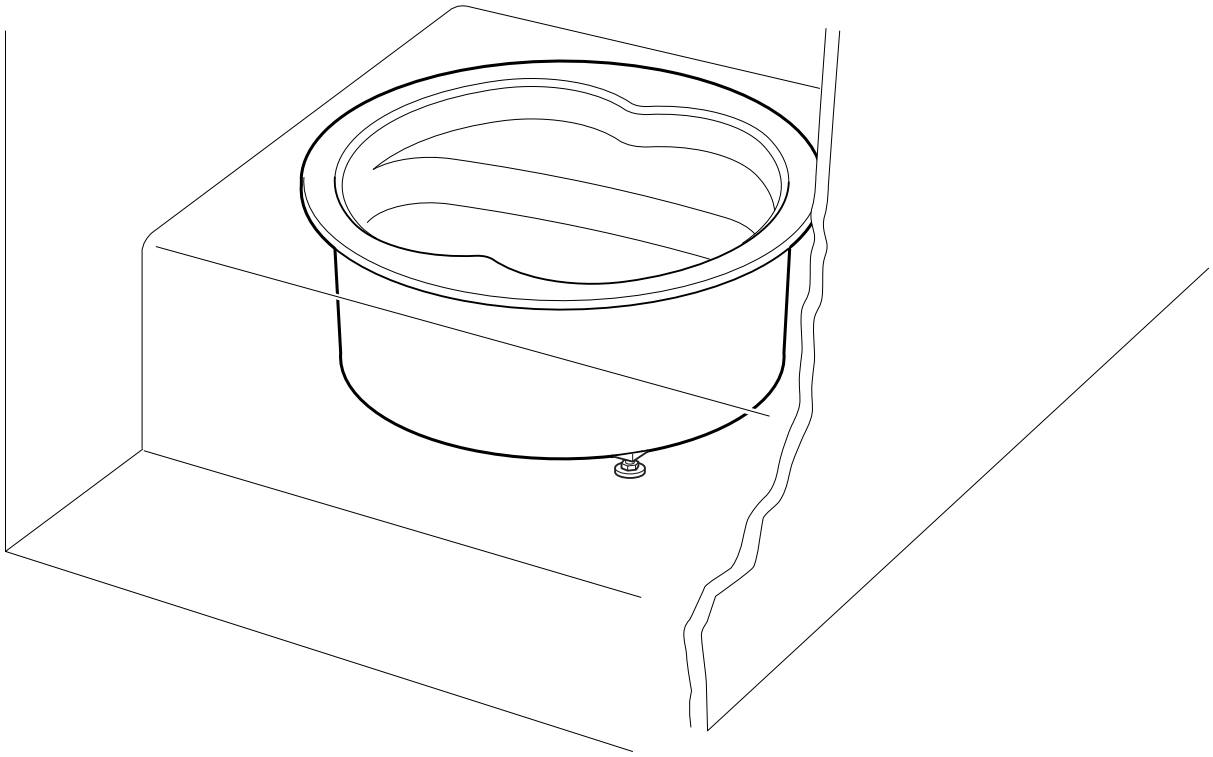
2008.4版

スーパーエクセレントバス ＜浴槽本体＞

SUPER EXCELLENT BATH

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

■ このたびはTOTOスーパーエクセレントバスをご採用いただきましてありがとうございました。
■ 製品の機能が十分発揮されるように、この「施工説明書」の内容にそって正しく施工してください。
なおこの説明書は、浴槽本体の施工のみを記載しています。エアブローⅡ・水中照明Ⅲ・ブローバスSXⅡの施工については、それぞれの施工説明書をご確認の上、正しい施工をお願いします。
■ 浴槽据付・機能部取付など各種施工と電気・水道工事は工程を十分に打合わせのうえ行ってください。
■ 工事完了後は、お客様に操作説明を行い、「取扱説明書（保証書付）」をお渡しください。
なお、「保証書」には必要事項を必ず記入してください。
■ 施工説明書に記載の品番は、改訂する場合がありますので、ご了承ください。



もくじ

1. 安全上の注意 ……4～7

2. セット内容 ……8

3. 浴槽寸法図および仕様 ……9～21

4. 施工手順 ……22

5. 施工上の注意 ……23

6. 施工要領 ……24～34

6-1 浴槽の穴あけ（給湯機の循環アダプタを取付ける場合）……24

（1）穴あけ手順 ……24

（2）穴あけ指定位置 ……24

6-2 浴槽下地づくり～浴槽裾付け ……27

（1）台座の設置 ……27

（2）ブローバス防振ゴム脚の取付け 別売品施工 ……27

（3）排水配管の取付け ……27

（4）浴槽の裾付け ……29

6-3 仕上げ ……31

（1）浴槽の固定 ……31

（2）ブロック・れんがなど立上げ工事 ……31

（3）タイル仕上げ ……34

7. 別売品 ……35

1. 安全上の注意

●安全のために必ずお守りください。

取付け工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

この施工説明書では、製品を安全に正しく取付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事業者への危害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表　示	意　　味
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

下に示す表示は施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取付けていただくためのものです。内容をよく理解して正しく取付けてください。

表　示	意　　味
⃠	行ってはいけない「禁止」の内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」の内容です。

取付け工事完了後、器具のがたつきや漏水など安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている取扱説明書（保証書付）は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要なものです。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者又は建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠ 注意

必ず実行

設置は、施工説明書にしたがって確実に行う

工事に不備があると漏水により家財などを汚したり、腐らせるおそれがあります。

禁　止

浴槽に硬いものを落したり、ぶつけたりしない

浴槽にひびが入りケガをしたり、または漏水により家財を汚したり腐らせるおそれがあります。

禁　止

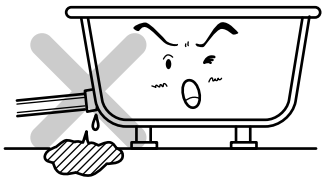
浴槽の上に乗って作業をしない

足をすべらせてケガをしたり、製品に傷をつけるおそれがあります。

必ず実行

浴槽への穴あけは、穴あけ指定位置で穴あけする

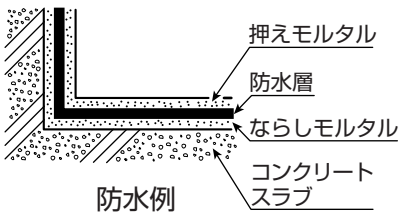
穴あけ指定位置以外に穴あけした場合、漏水により家財を汚したり、腐らせるおそれがあります。



必ず実行

必ず防水層を設ける

工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。



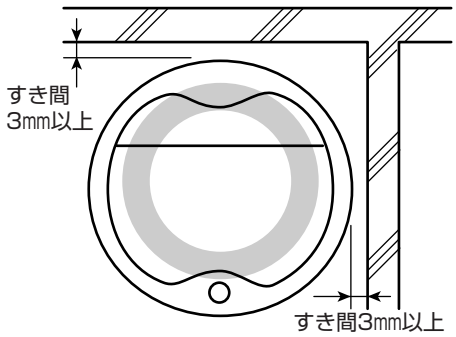
防水例

⚠ 注意

必ず実行

浴槽を据付ける際、壁・タイルと浴槽との間には、すき間を設ける
また、浴槽周囲のコーキングは手順にしたがって確実に行う

浴槽の熱膨張により、タイルなどの壁材を破損したり、漏水により家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。



必ず実行

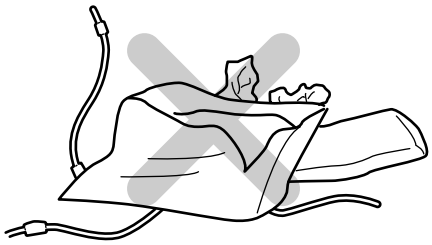
排水配管の取付けは、手順にしたがって確実に行う

工事に不備があると漏水し、家財を汚したり腐らせるおそれがあります。

必ず実行

開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分する

ビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。
また、木枠・釘・段ボールや締付バンドなどでケガをするおそれがあります。



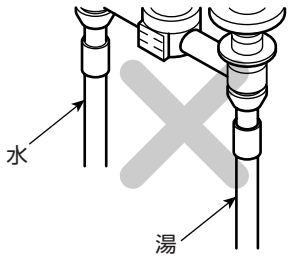
水栓付浴槽の場合

⚠ 注意

禁　止

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



禁　止

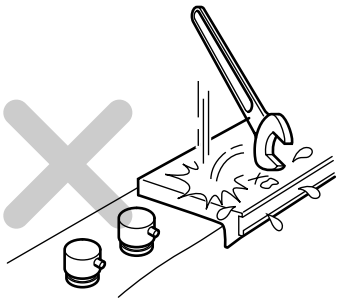
熱湯を直接入れない

浴槽表面に直接60℃を超えるお湯をあてると、表面の変形や著しい荒れ・変色・退色をおこすおそれがあります。

禁　止

強い力や衝撃を与えない

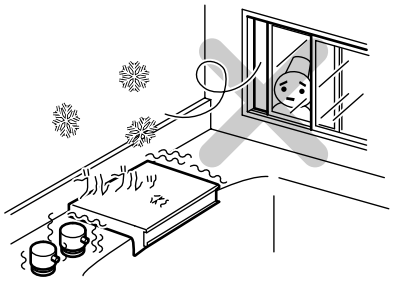
故障や水漏れのおそれがあります。



必ず実行

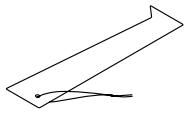
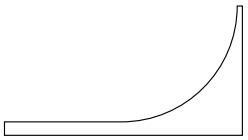
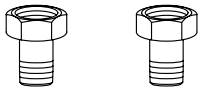
凍結が予想される場所でご使用になる場合は、配管部などに保温材を巻く
また、寒冷地の場合は「寒冷地での水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に行う

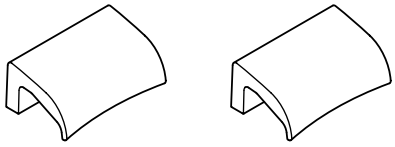
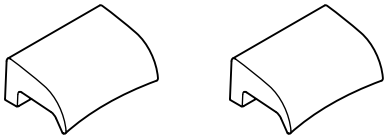
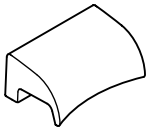
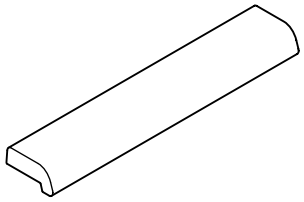
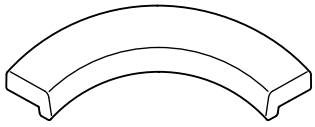
部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



2. セット内容

●製品を開梱しましたら、下記内容にそって部品と個数を確認してください。

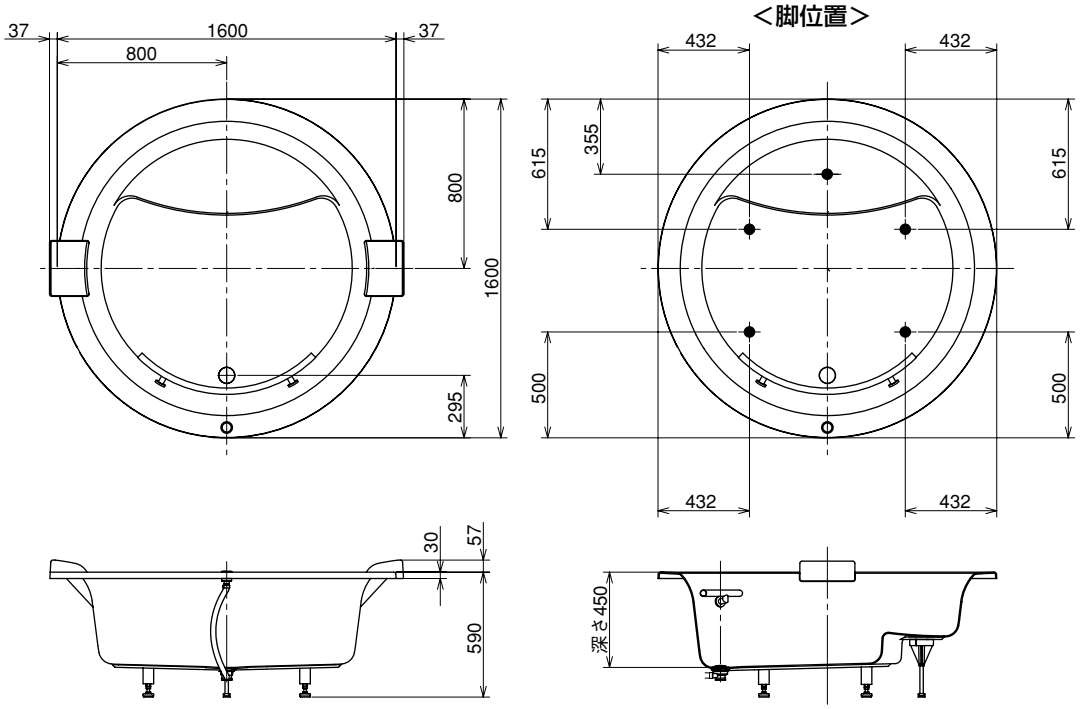
	品　名	個数	部品形状	品　名	個数	部品形状
浴槽本体部	施工説明書	1		2ハンドルバス水栓 取扱説明書 （PVS1520 PVS1530のみ PVS1540）	1	
	取扱説明書 （保証書付）	1		吐水口掃除板 （取扱説明書参照に同封） （PVS1520 PVS1530のみ PVS1540）	1	
	型　紙 （PVS1610 PVS1400 PVS1540のみ PVS1820 PVS1530）	1		水栓継手 （PVS1520 PVS1530のみ PVS1540）	2	

	品　名	個数	部品形状
同梱部品	ソフトピロー （PVS1810 PVS1830 のみ）	2	
	ソフトピロー （PVS1640 PVS1650 のみ）	2	
	ソフトピロー （PVS1820 PVS1840 のみ）	1	
	ソフトピロー （PVS1520のみ）	1	
	ソフトピロー （PVS1530のみ）	1	
	ソフトピロー （PVS1540のみ）	2	

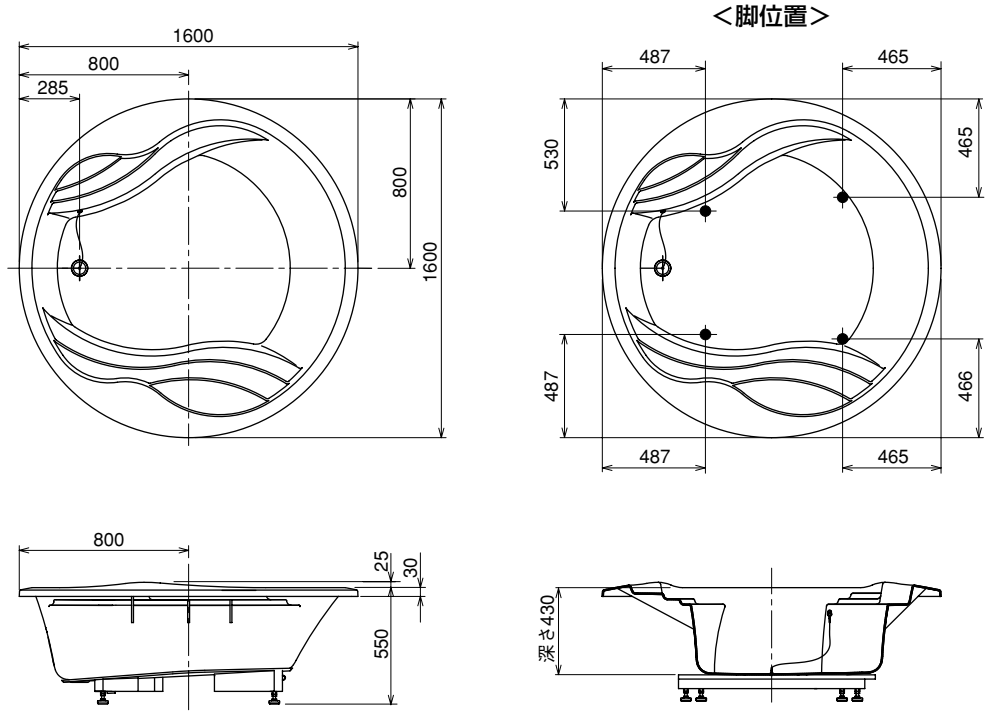
3. 浴槽寸法図および仕様

（1）円形浴槽

〈PVS1640,1650〉

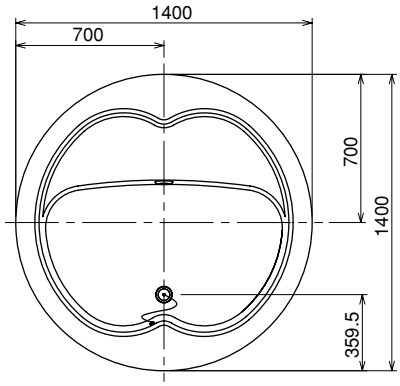


〈PVS1620〉

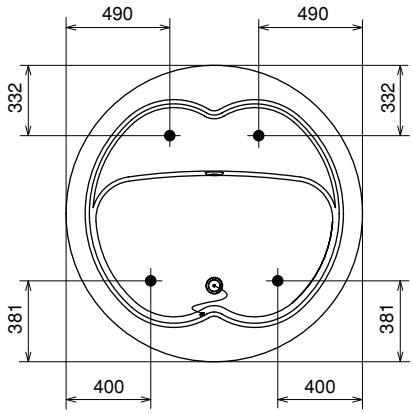


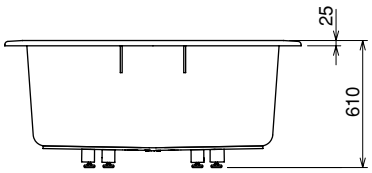
注 自然循環型給湯機は使用できません。

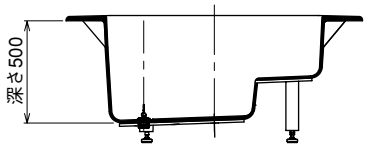
〈PVS1420〉



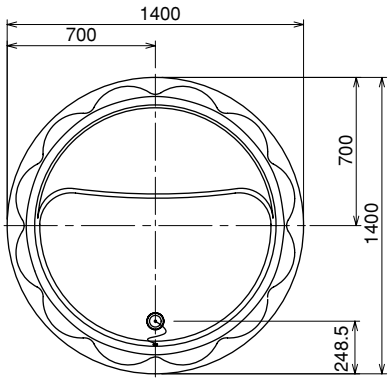
＜脚位置＞



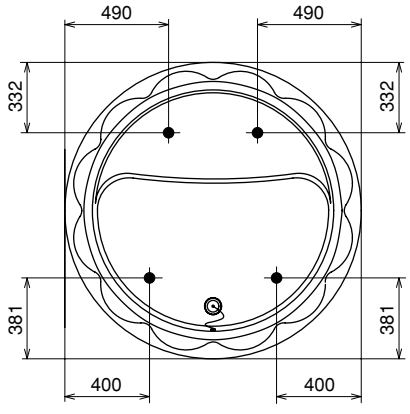


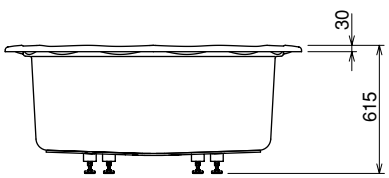


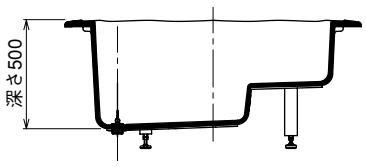
〈PVS1430〉



＜脚位置＞



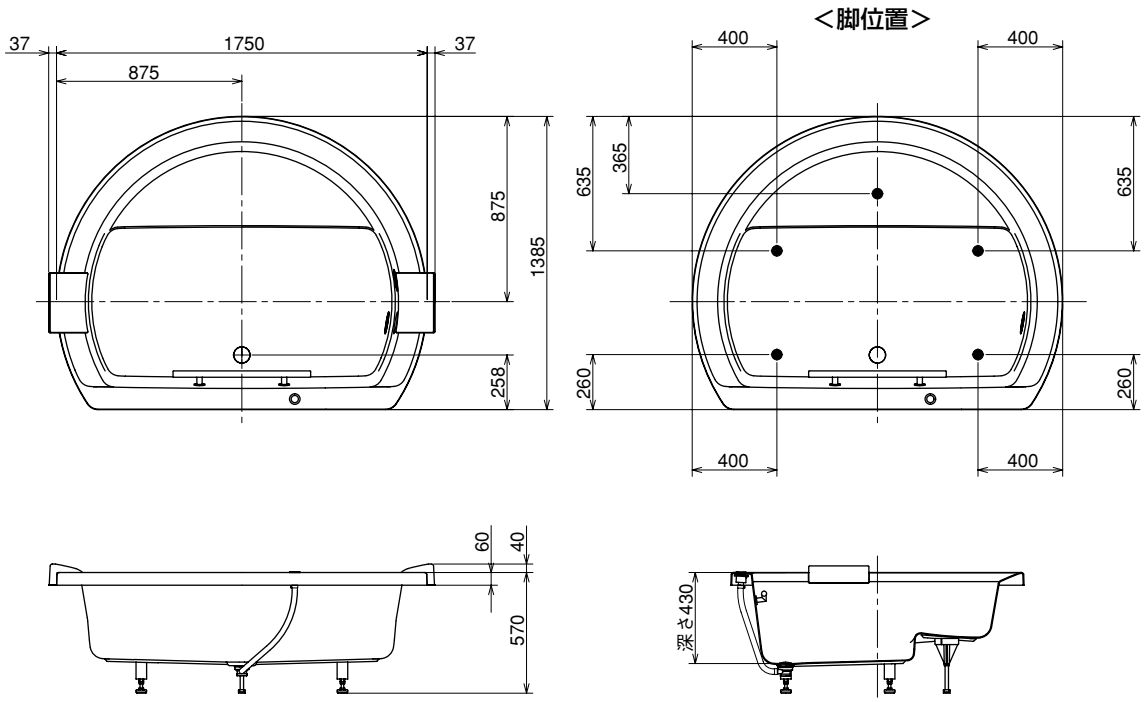




注 自然循環型給湯機は使用できません。

(2) 半円形浴槽

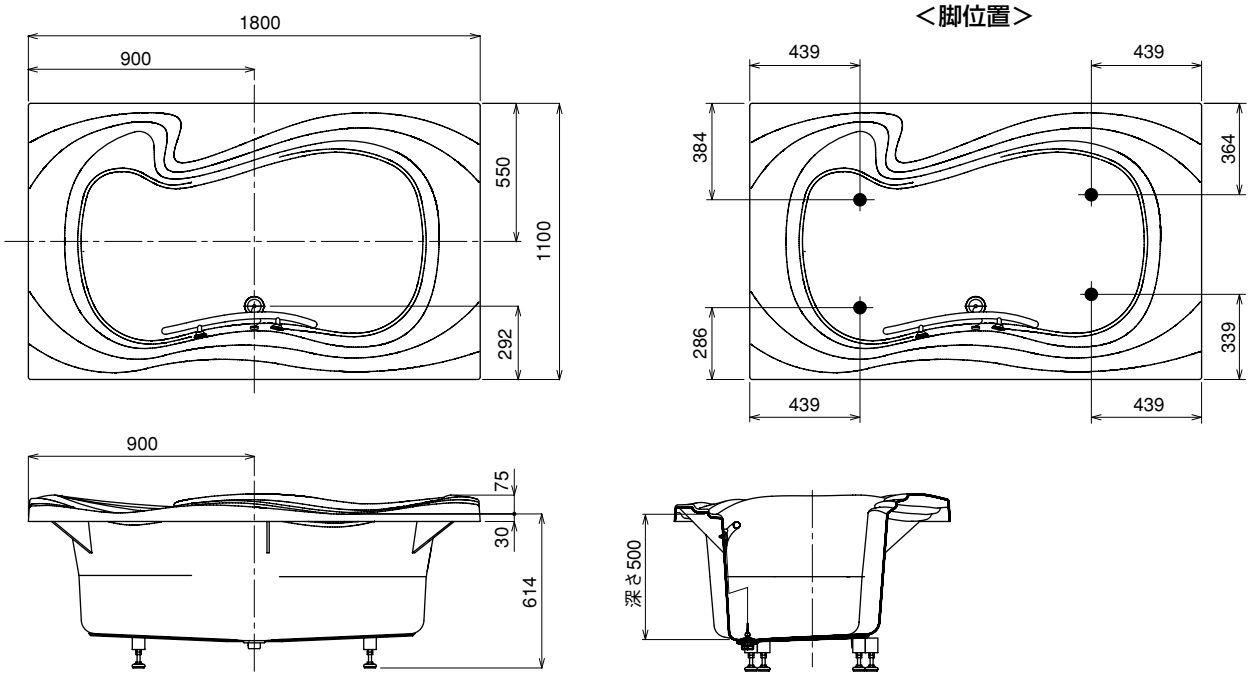
〈PVS1810,1830〉



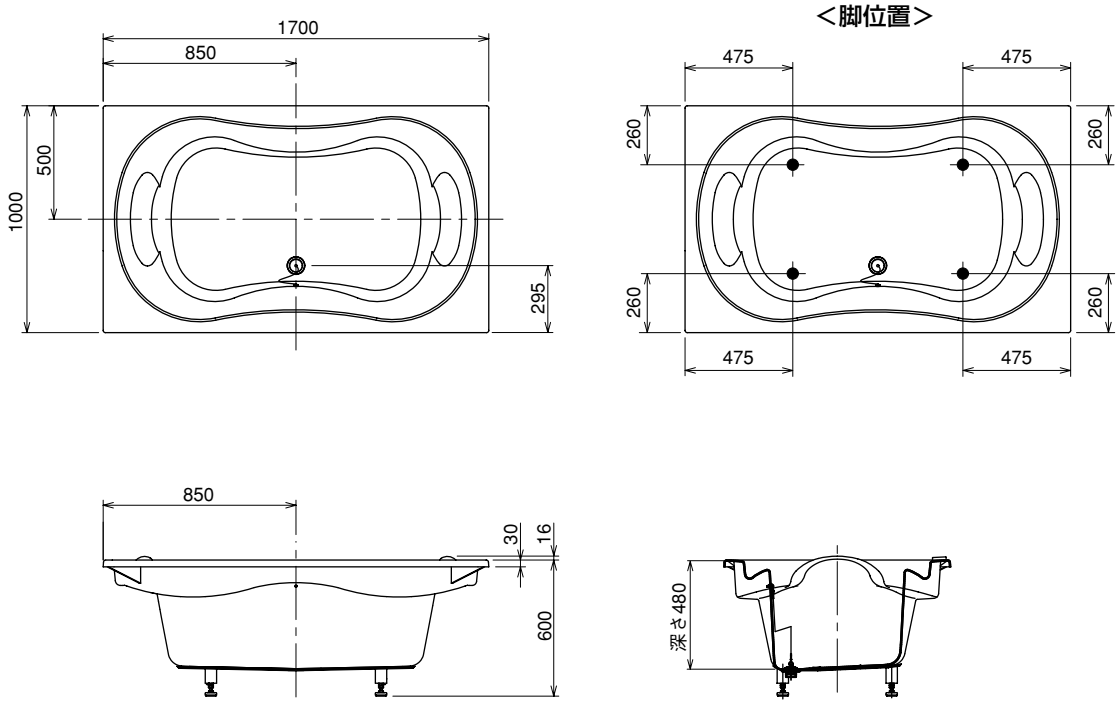
注 自然循環型給湯機は使用できません。

(3) 角型浴槽

〈PVS1800〉

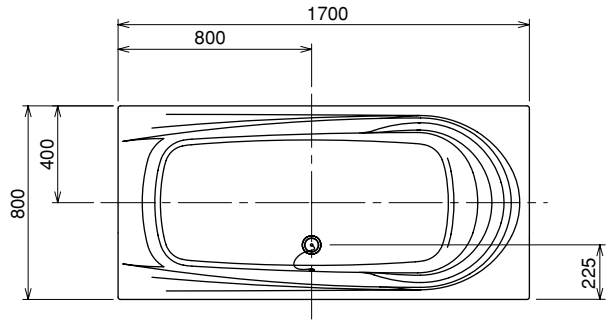


〈PVS1700〉

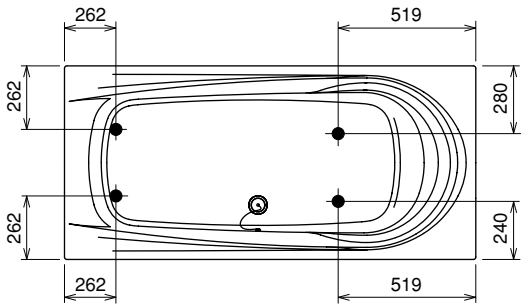


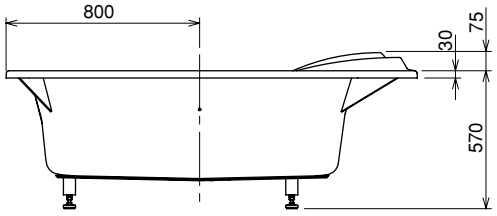
注 自然循環型給湯機は使用できません。

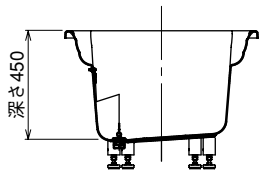
〈PVS1710〉



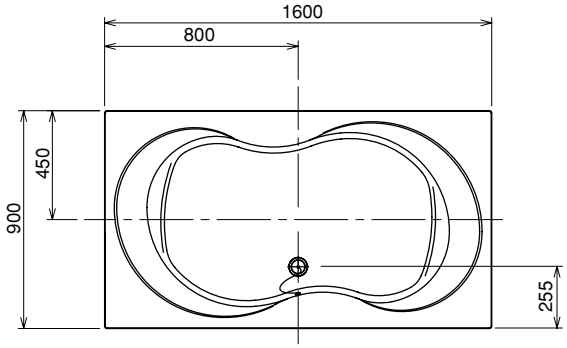
＜脚位置＞



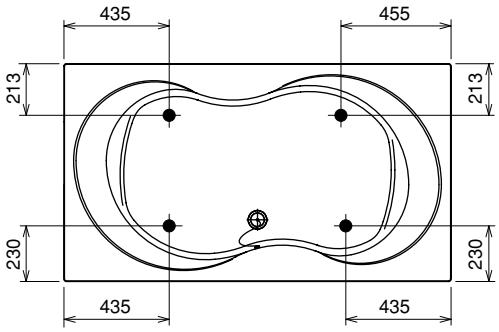


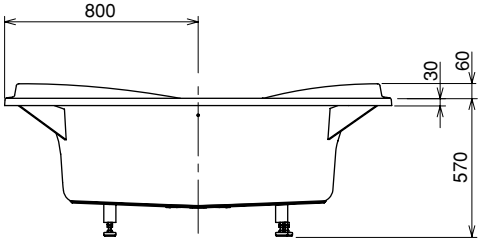


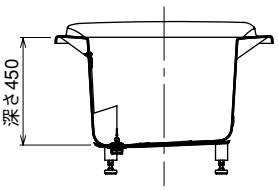
〈PVS1600〉



＜脚位置＞

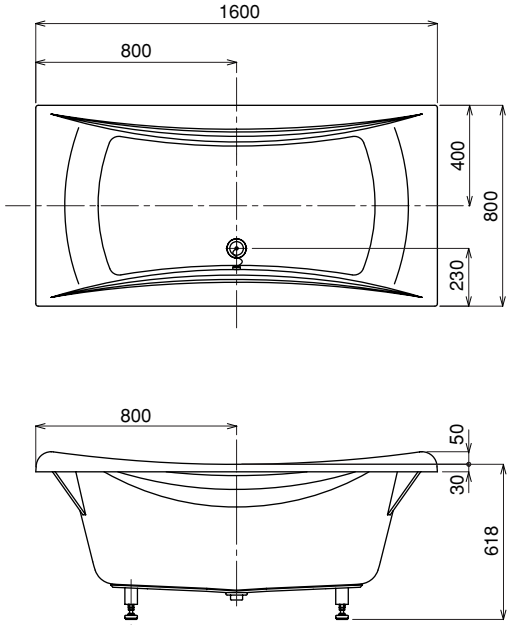




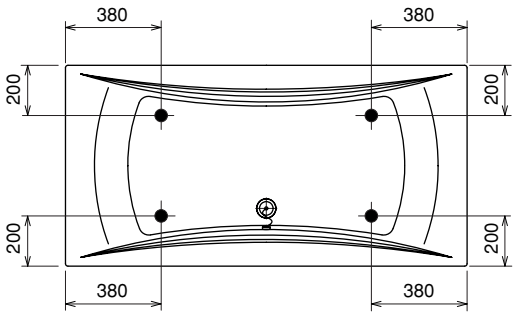


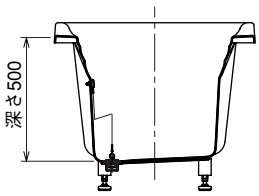
注 自然循環型給湯機は使用できません。

〈PVS1630〉

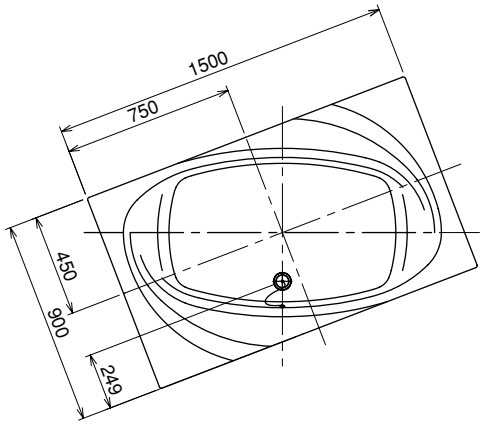


＜脚位置＞

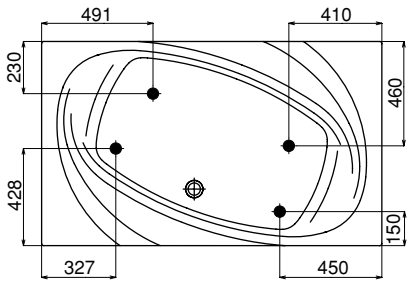


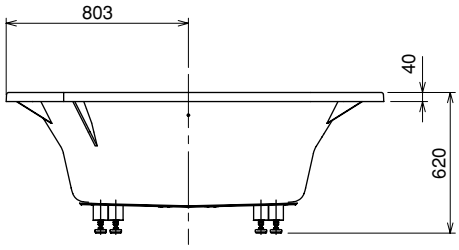


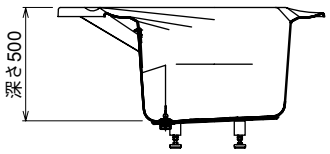
〈PVS1500〉



＜脚位置＞

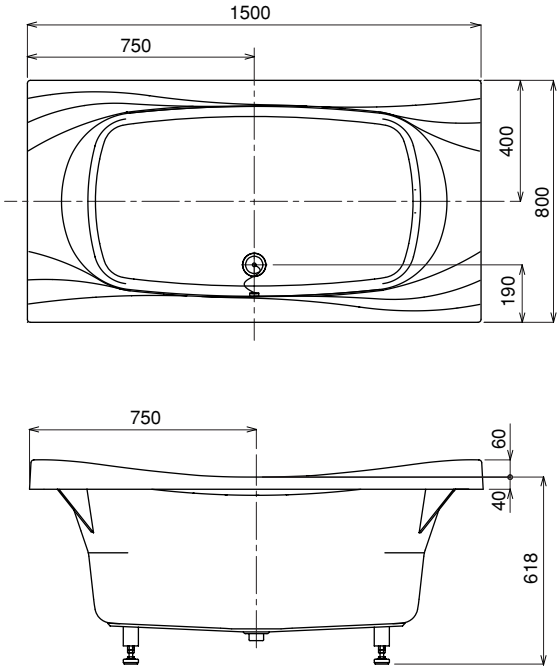




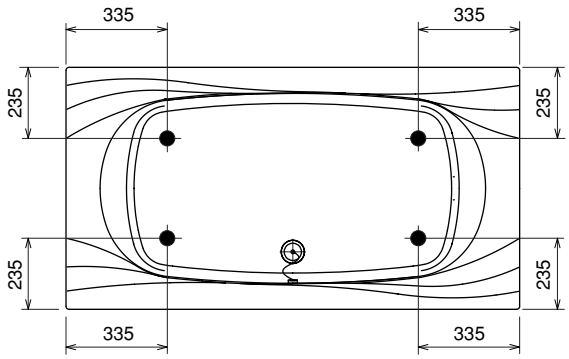


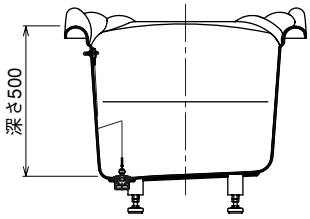
注 自然循環型給湯機は使用できません。

〈PVS1510〉

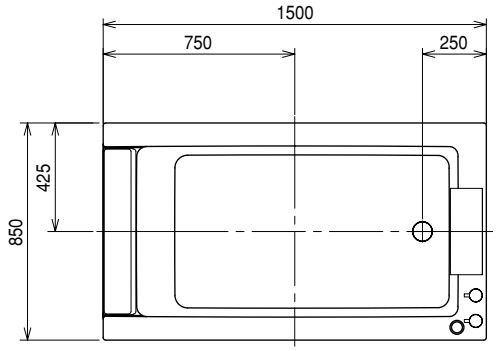


＜脚位置＞

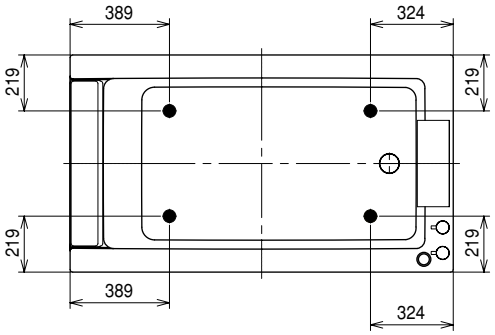


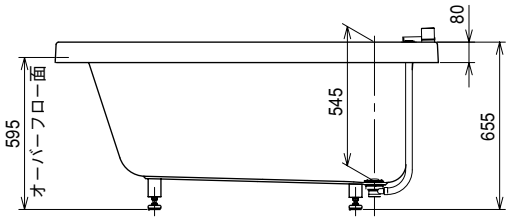


〈PVS1520〉



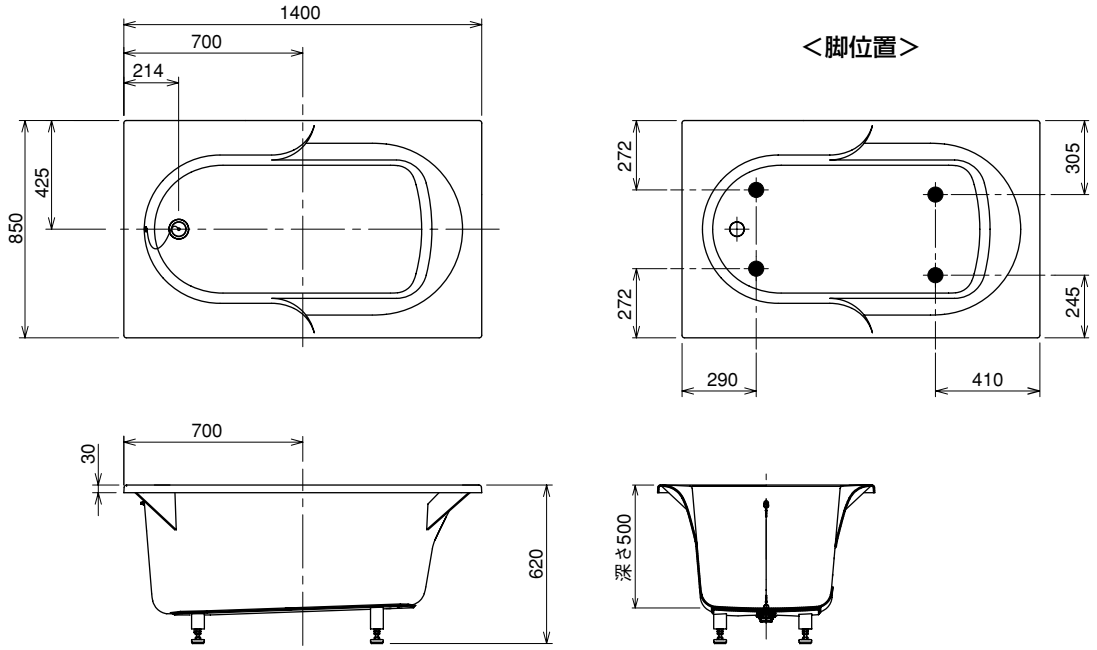
＜脚位置＞





注 自然循環型給湯機は使用できません。

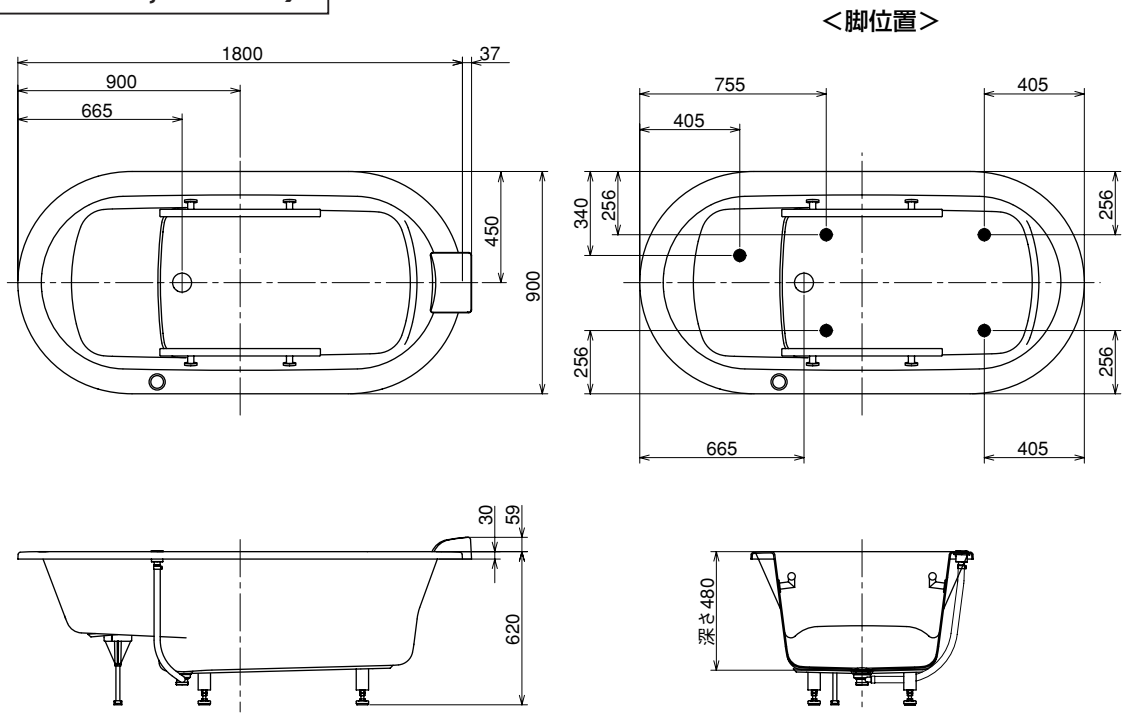
〈PVS1410〉



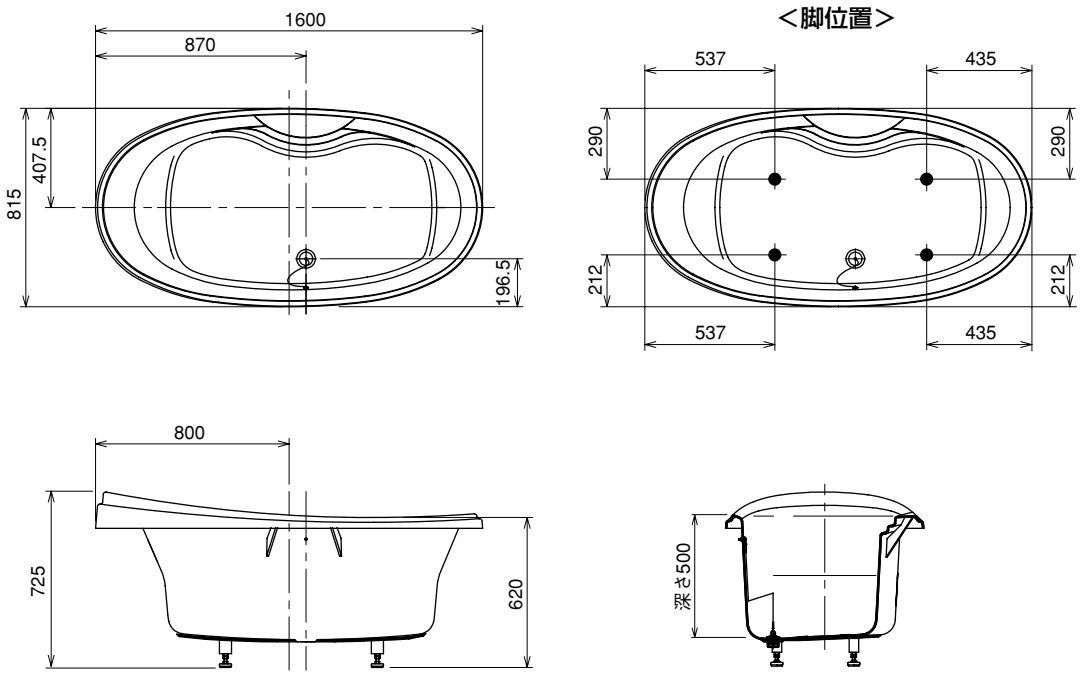
注 自然循環型給湯機は使用できません。

(4) だ円浴槽

〈PVS1820,1840〉

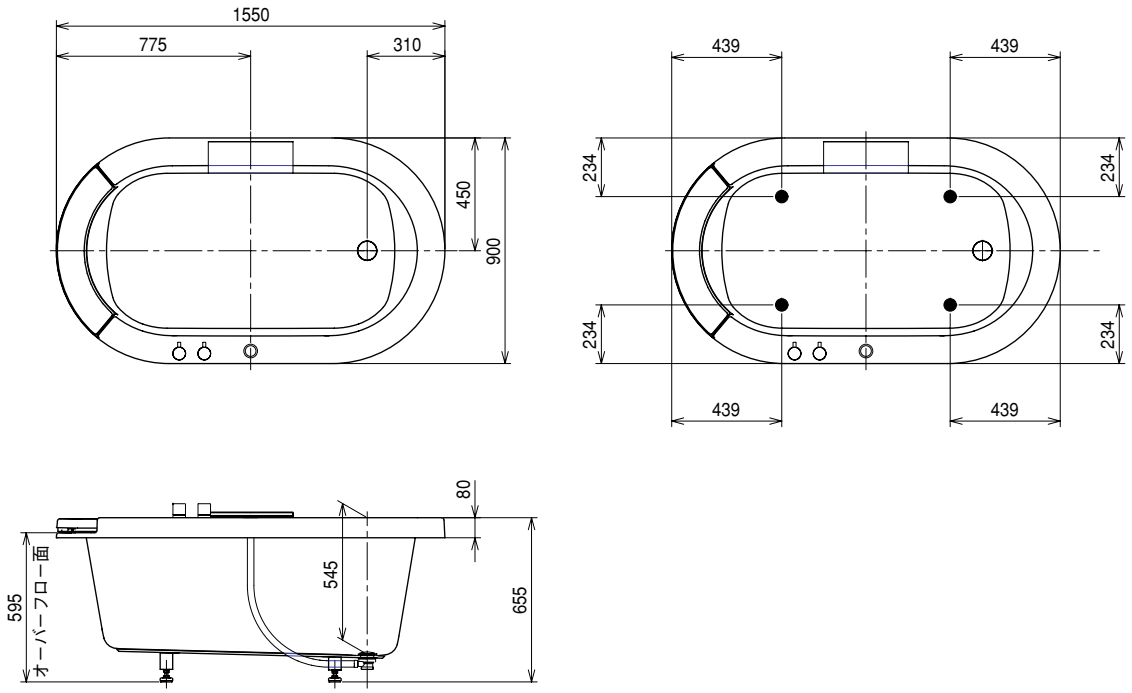


〈PVS1610〉



注 自然循環型給湯機は使用できません。

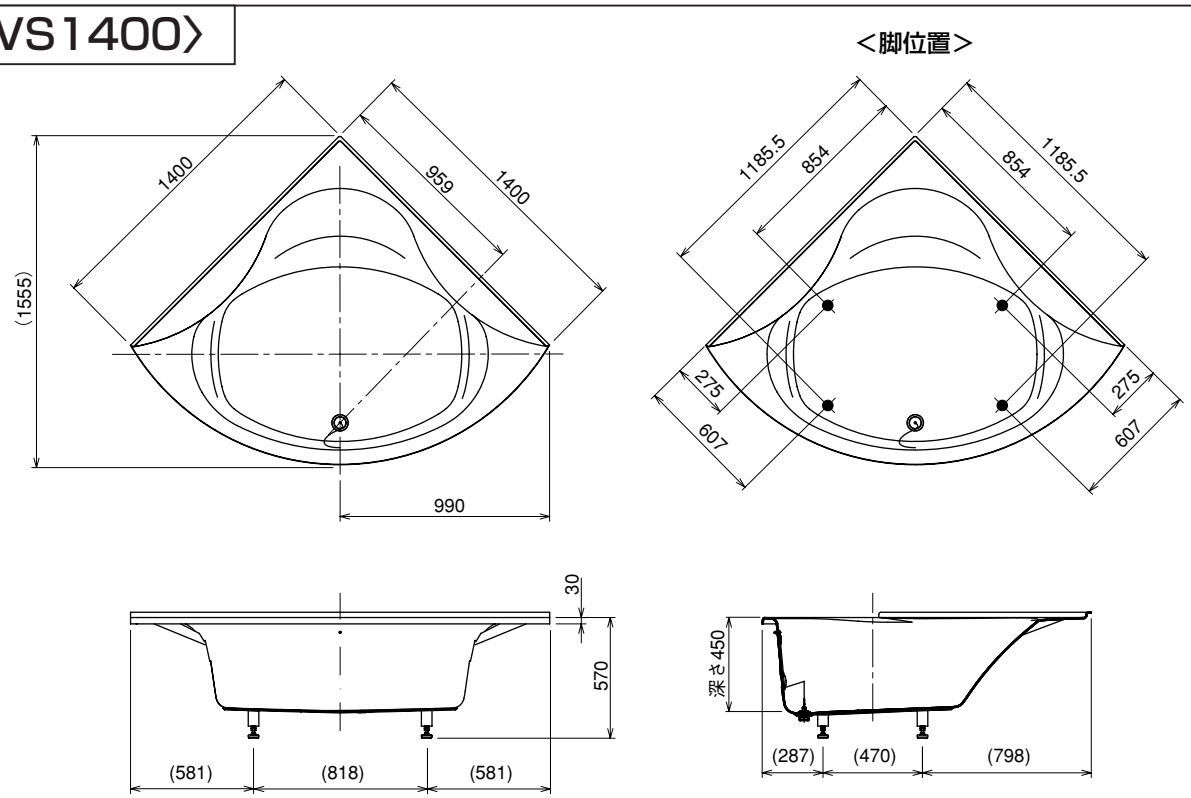
〈PVS1530〉



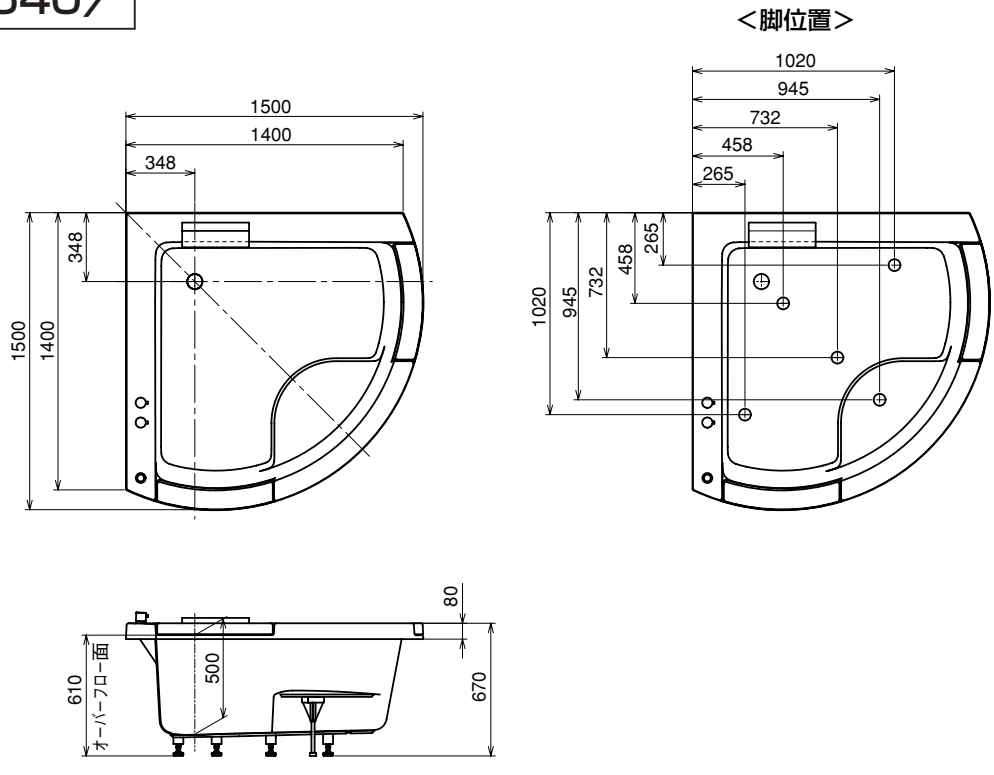
注 自然循環型給湯機は使用できません。

(5) 扇型浴槽

〈PVS1400〉

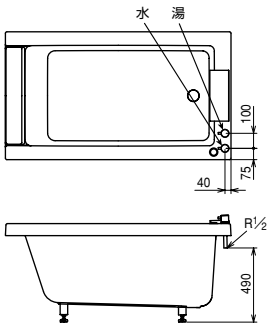


〈PVS1540〉

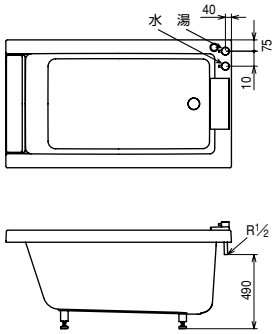


注 自然循環型給湯機は使用できません。

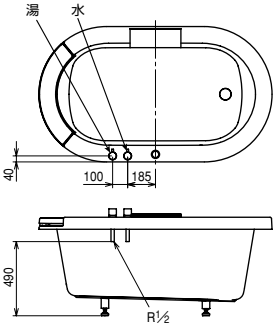
（6）水栓位置図



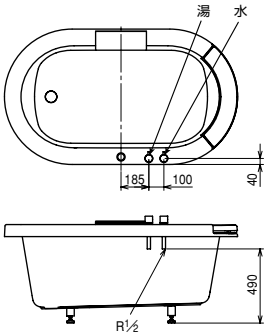
PVS1520RJ



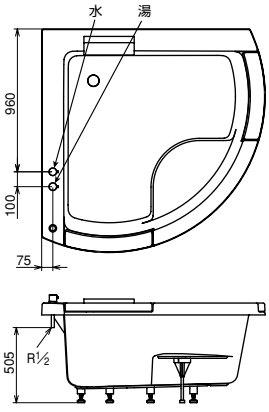
PVS1520LJ



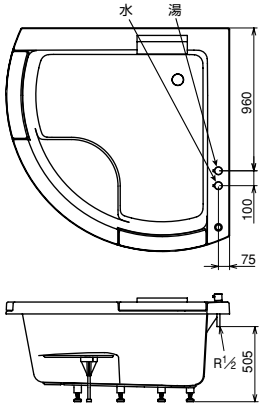
PVS1530RJ



PVS1530LJ



PVS1540RJ



PVS1540LJ

仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧　0.1MPa
	最大水圧　0.75MPa
最大流量	49L/min
水栓接続口径	R1/2（シールテープとヘルメシールを合わせて使用してください。）

※水栓と給水、給湯管の接続については、P.32をご参照ください。

取り付け前に

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

●誤操作などによるやけどの防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。

●誤操作などによるやけどの防止のため、60℃給湯をおすすめします。

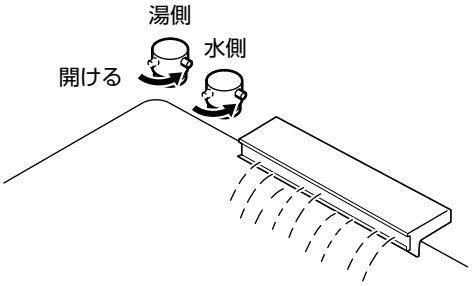
●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

寒冷地での水抜き方法

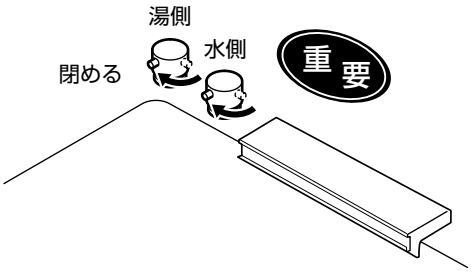
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜方法をご説明ください。

①配管部の元栓を閉め、水抜栓（配管部）を開ける。
※配管の元栓・水抜栓が分からない場合は、お求めの工事店にご相談ください。



②湯・水両方のハンドルを全開にして水栓内の水を抜く。

③水抜き完了後は、必ずハンドルを閉める。
（水が出ない状態）



4. 施工手順

6-1. 浴槽の穴あけ（P24～P26）

6-2. 浴槽下地づくり～浴槽据付け（P27～P30）

（1）台座の設置（P27）

（2）ブロー防振ゴム脚 (注1) の取付け（P27）

壁開口
サヤ管工事

（3）排水配管の取付け（P27~P28）

（4）浴槽の据付け（P29~P30）

機能部の設置と接続
確認・試運転および漏水確認

6-3. 仕上げ（P31～P34）

（1）浴槽の固定（P31）

（2）ブロック・れんがなど立ち上げ工事（P31~P33）

（3）タイル仕上げ（P34）

最終確認

囲み部は機能部の施工です。
詳細については各機能の施工説明書を参照ください。

囲み部は別売品の施工です。
下記の別売品のうち、必要部材を購入の上、施工してください。

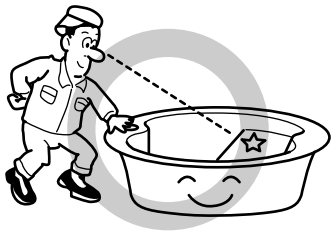
別売品

（注1）ブローバス防振ゴム脚
（品番：PZ6002（4個入り）
PZ6048（5個入り））

5. 施工上の注意

●スーパーエクセレントバスの施工において必ず守ってください。

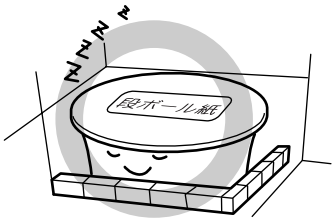
1 浴槽据付け前に、浴槽本体・配管に異常がないことを確認する



2 脚立などを浴槽内に立てたり、浴槽の縁に重たいものをのせない

（破損の原因となります。）

3 浴槽の養生シートをはがさない
また、浴室工事が終わるまで浴槽を段ボールなどで養生する

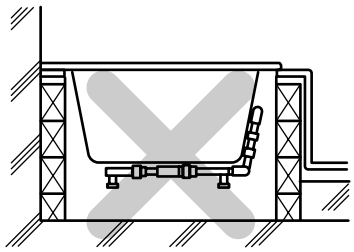


（破損の原因となります。）

4 トーチランプの火を当てたり、火のついたタバコを浴槽にのせない

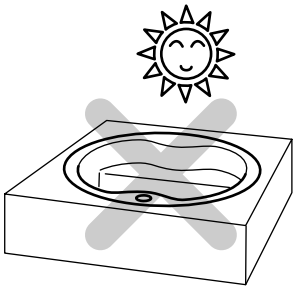
（破損の原因となります。）

5 リム面だけで支える施工は行わない



（破損の原因となります。）

6 浴槽は屋外や常時日の当たる場所（サンルームなど）に設置しない

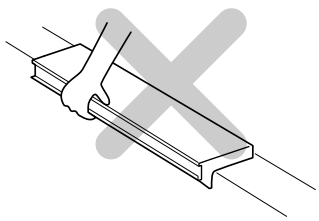


（浴槽の変色の原因となります。）

7 浴槽搬入の際、ワンプッシュ排水栓の操作部本体やホース、配管を持ったり、硬いものをぶつけたりしない

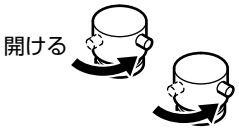
また、水栓付浴槽の場合は水栓部を持たない。

ワンプッシュ排水栓の作動不良や配管からの漏水の原因となります。
また、漏水により家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。
（ワンプッシュ排水栓付・水栓付浴槽の場合）



8 吐水確認をするときはハンドルを全開にする

配管中のゴミがバルブに入り、止水不良になるおそれがあります。



●スーパーエクセレントバスを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

6. 施工要領

6－1 浴槽の穴あけ（給湯機の循環アダプタを取付ける場合）

※スーパーエクセレントバスは、自然循環型給湯機は使用できません。

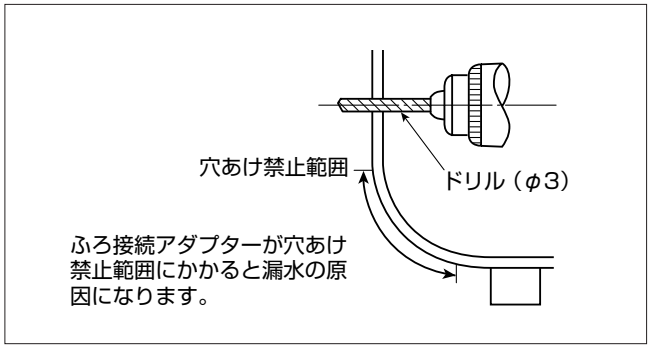
⚠注意　必ず実行

浴槽への穴あけは、穴あけ指定位置に穴あけする

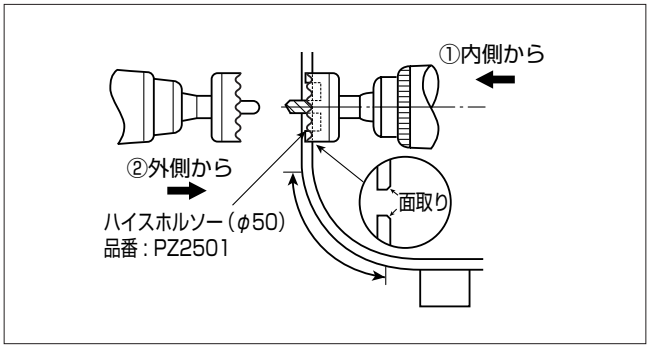
穴あけ指定位置外に穴あけした場合、漏水により家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

（1）穴あけ手順

●穴あけ後は穴の エッジ部の面取り を必ず実施してください。



穴あけ位置にφ３のドリルで浴槽内側からセンター穴をあけてください。



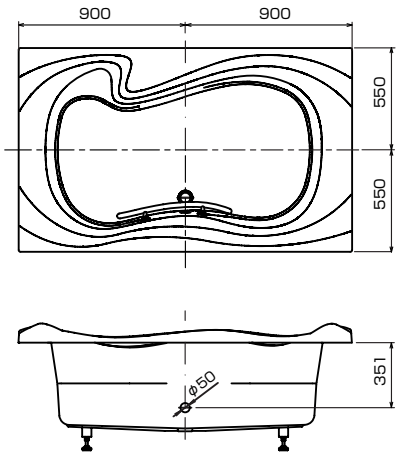
センター穴をガイドにしてφ50のハイスホルソーで①浴槽内側から半分位穴あけし、次に②浴槽外側より貫通穴をあけてください。

・ドリルは400rpm以下でご使用ください。

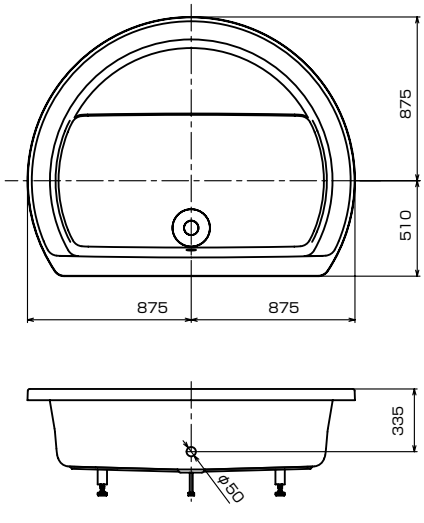
・穴あけ周囲は、紙やすりなどでC1～C2程度面を取ってください。

●穴あけ指定位置は、P24～26に記載していますので確認してください。

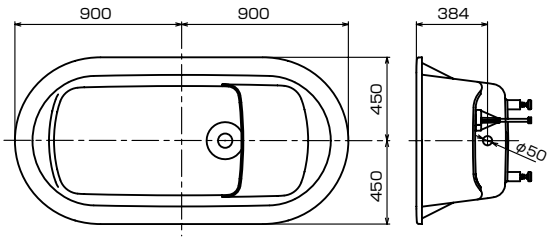
（2）穴あけ指定位置



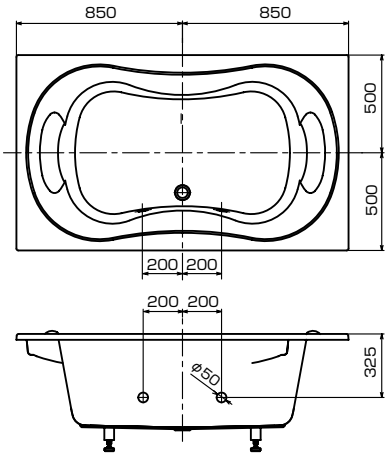
PVS1800



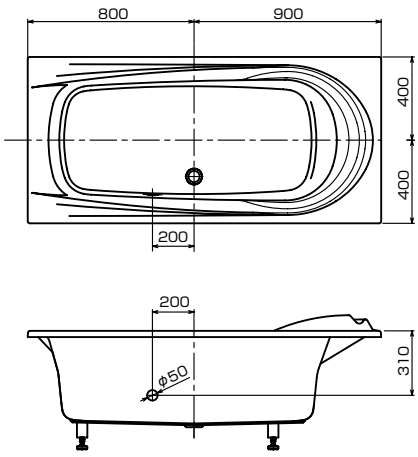
PVS1810



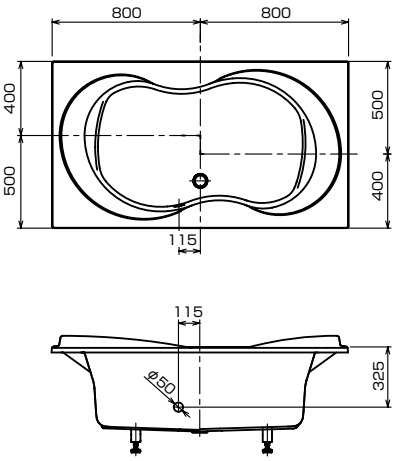
PVS1820/PVS1840



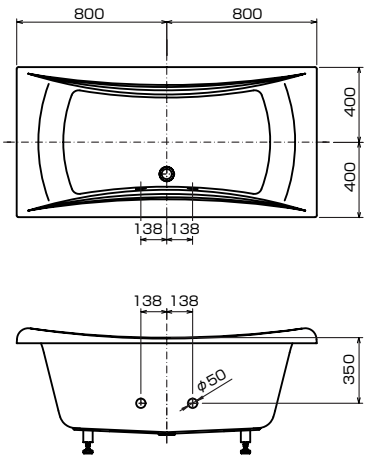
PVS1700



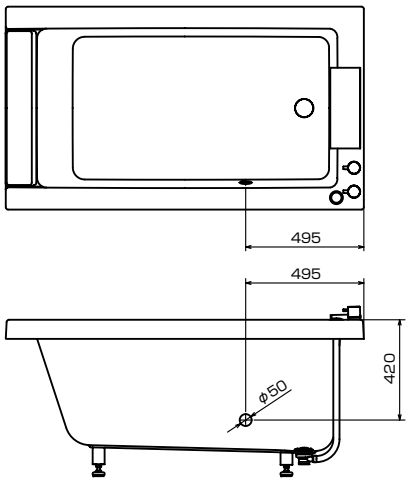
PVS1710



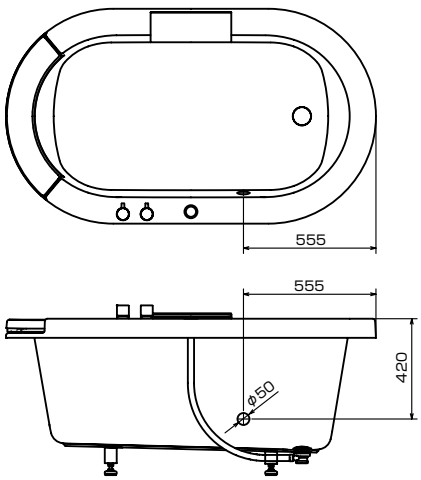
PVS1600



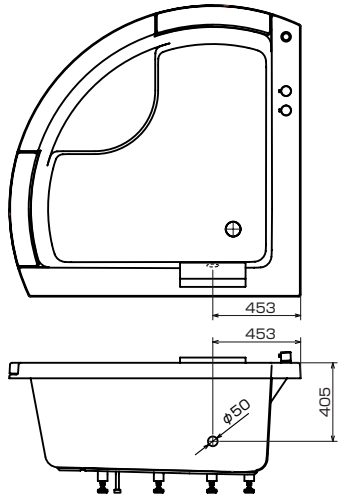
PVS1630



PVS1520

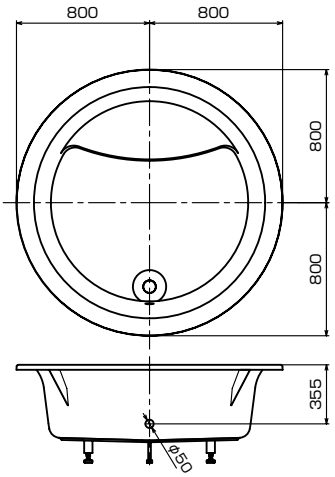


PVS1530

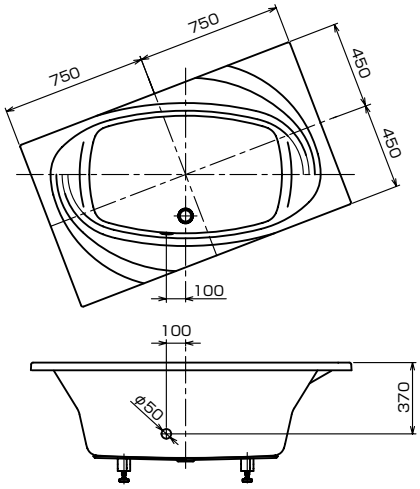


PVS1540

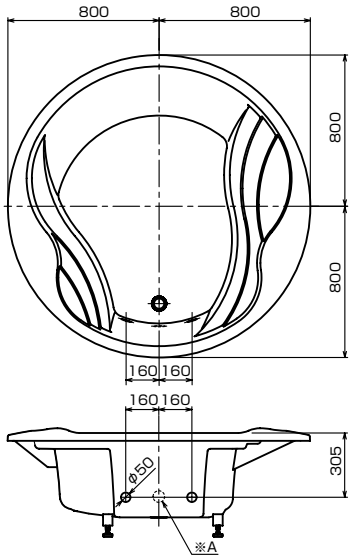
注 PVS1520, 1530, 1540はRタイプを示しています。



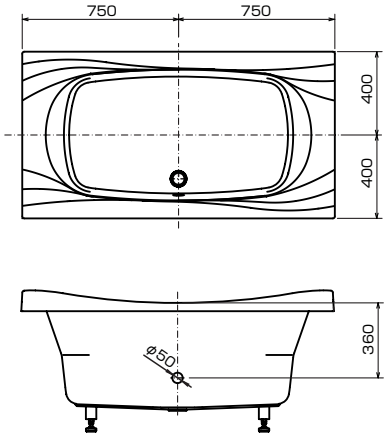
PVS1640/PVS1650



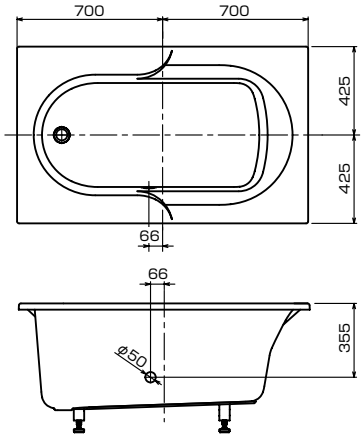
PVS1500



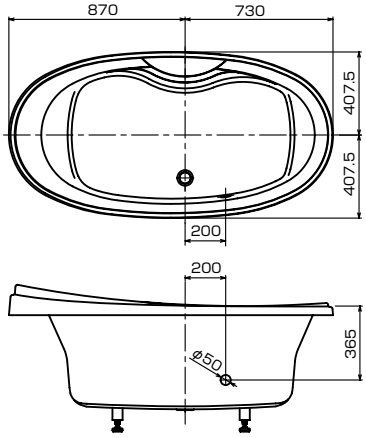
PVS1620



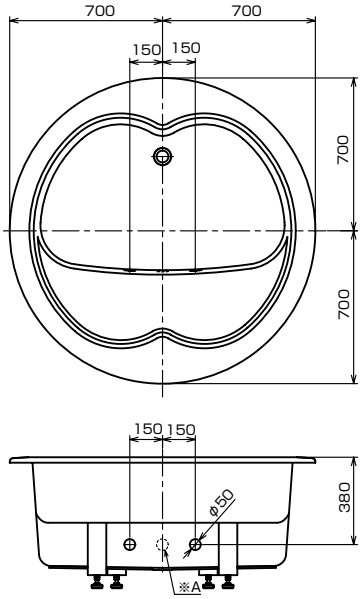
PVS1510



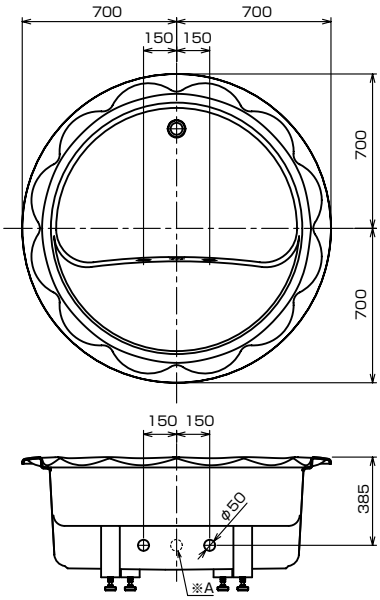
PVS1410



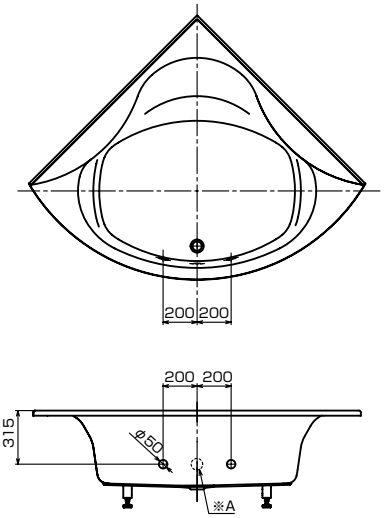
PVS1610



PVS1420



PVS1430



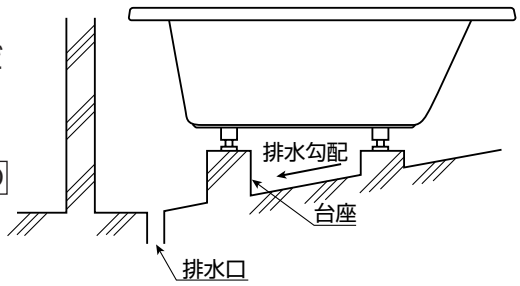
PVS1400

注　水中照明付の場合、※Ａ部への穴あけはできません。

6−2 浴槽下地づくり〜浴槽据付け

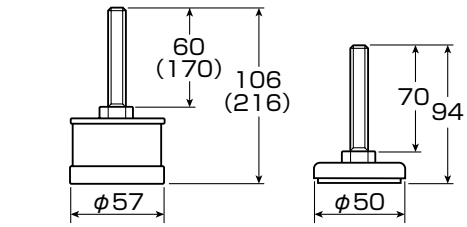
（1）台座の設置

●浴槽据付床は排水勾配をとり、浴槽脚部はブロックやモルタルなどで台座を設けてください。
●台座はすべて同じレベルになるように設置してください。
●ブローバス防振ゴム脚を取付ける場合は、ブローバス防振ゴム脚の高さを考慮し台座、デッキならびに配管取出口を設けてください。
（詳細は下記「ブローバス防振ゴム脚の取付け」をご参照ください。）



（2）ブローバス防振ゴム脚の取付け 別売品施工

●ブローバス防振ゴム脚を使用する場合は、浴槽据付前に取付けを行ってください。
●ブローバス防振ゴム脚（別売品、品番：PZ6002,PZ6048）を取付けた場合、脚部の高さが標準品より+17㎜高くなります。また脚はアジャスターボルトになっており、ねじ込み代によっては高さが上記寸法にならない場合があります。台座、デッキならびに配管取出口などは、以上を考慮のうえ、設置してください。
●PZ6048はPVS1810,1820,1830,1840,1640,1650,1540専用です。



〈ブローバス防振ゴム脚〉
（品番：PZ6002(4個入り)
PZ6048(5個入り)）

〈標準品〉

※浴槽ステップ下脚用が1個PZ6048に付属

（3）排水配管の取付け

⚠ 注意

必ず実行

排水配管の取付けは、手順にしたがって確実に行う

工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

間接排水の場合

浴槽の排水口下に径50㎜以上の排水管を設けてください。
（図1　※1参照）

●排水配管の途中には、下水ガスが浴室内に逆流しないよう必ずトラップ（封水深50㎜以上）を設けてください。
（図1　※2参照）

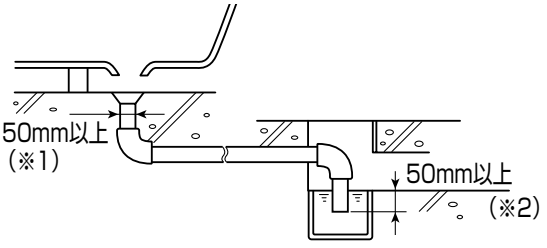
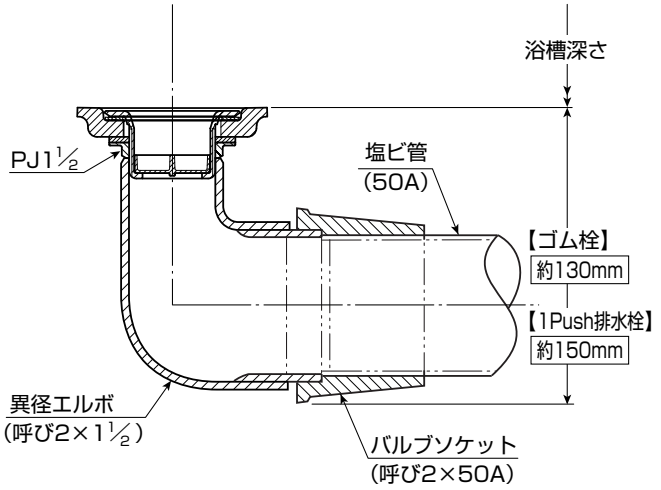
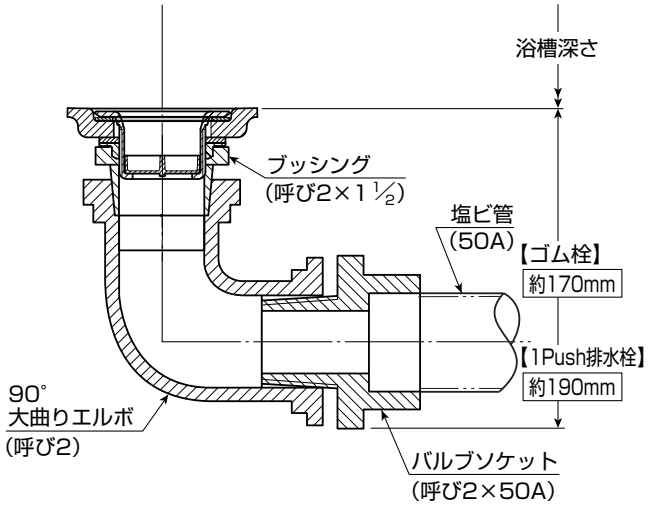


図1

直接排水の場合

あらかじめ浴槽の排水金具にソケットやエルボをねじ込み、配管を接続してください。

エアブローⅡなしの場合	エアブローⅡ付の場合
	●エアブローの浴槽裏配管への干渉を防ぐために、下記のような施工が必要です。 

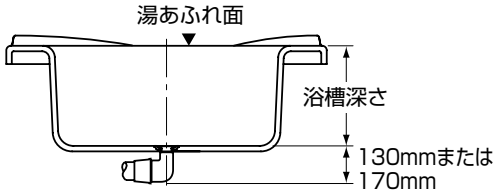
＜浴槽底面裏側に必要なクリアランスについて＞

※浴槽深さ寸法（P9～P19参照）に、

●エアブローⅡなし（異径エルボ使用）：ゴム栓 約130mm、1Push 約150mm

●エアブローⅡあり（ブッシング＋大曲りエルボ使用）：ゴム栓 約170mm、1Push 約190mm

をたすと、湯あふれ面からエルボ下端までの寸法となります。



●直接排水に必要な部材は全て現場手配となります。

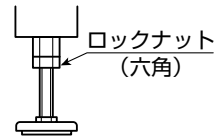
●直接排水の場合、排水金具にソケットやエルボをねじ込むときは、金具本体が共回りしないよう十分注意し漏水確認を行ってください。

●エアブローⅡおよびブローバスSXⅡ付の場合、直接排水の排水管に建築躯体に振動が伝わらないよう配慮してください。

（4）浴槽の据付け

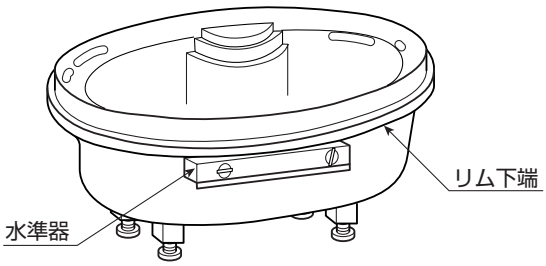
⚠注意	必ず実行	**浴槽を据付ける際の壁・タイルと浴槽との間には、すき間を設ける** 工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。また、浴槽の熱膨張によるタイルなどの壁材の破損およびブロー運転時の騒音の原因となります。

●浴槽は水平に据付けてください。
●浴槽の脚はアジャスターボルトになっていますので、ロックナット（六角）を緩めて水平調整してください。

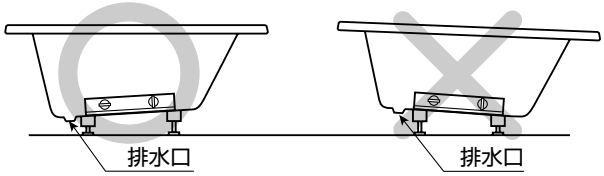


〈アジャスター脚〉

注　水平をとる場合は、下図のように必ずリム下で水平出しを行って据付けてください。



●浴槽水平出し微調整後、アジャスター脚のロックナットを締付けてください。
注　浴槽の水平出し調整後、浴槽底面の排水勾配がとられていることを水準器で確認してください。



排水口部が下がっている　　排水口部が上がっている

●コーナータイプの浴槽（扇型浴槽：PVS1400）やリムの広い浴槽（PVS1500）は、浴槽外周のリムに大きな荷重が加わった場合（例：人が腰をかけるなど）浴槽外周がたわみ、目地切れなどの問題が発生する可能性があります。
これを防止するため、必ず浴槽外周の下に建築（躯体）工事として支持台を立上げてください。

〈施工要領〉

①据付け高さを決定してください。
②浴槽外周の下にブロックなどで支持台を立上げてください。（図１参照）
（支持台の高さ寸法は、床面～浴槽外周裏面の寸法から20㎜程度低くしてください。）
③浴槽アジャスター脚を調節して浴槽を水平に設置してください。
（このとき、支持台と浴槽外周裏面のクリアランスは20㎜程度になります。）
④浴槽の水平出し完了後、一度浴槽を外し、支持台の上にモルタルを30㎜程度盛り、さらにその上に緩衝材を敷いてください。（図２参照）
（注意）モルタルを盛り過ぎると崩れ落ちて、排水管などが詰まる可能性があるので注意してください。
緩衝材を使用しないと支持台との接触により浴槽の割れ、異音の発生などの問題が発生する可能性があるので必ず使用してください。（緩衝材は、発泡スチロールなどを利用してください。）
⑤浴槽を再度設置して、浴槽外周を上から押しつけて（30㎜のモルタルを20㎜まで押えつけることになります。）、浴槽の水平出しを行ってください。
⑥そのままモルタルが固まるまで放置してください。

図１

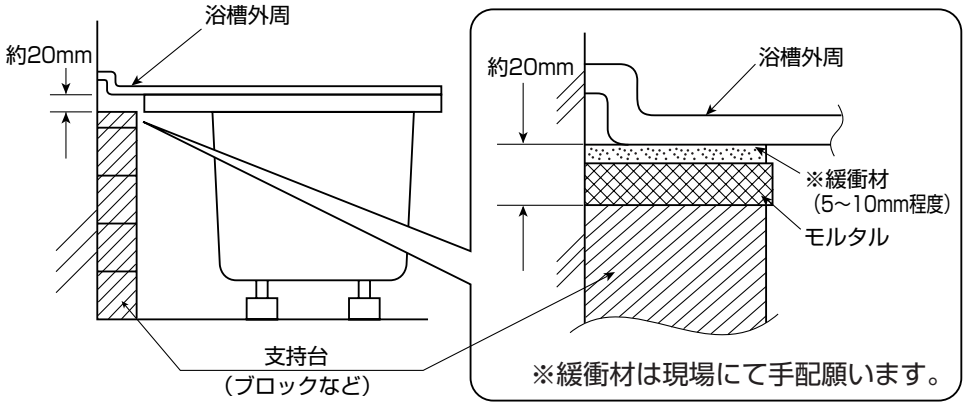
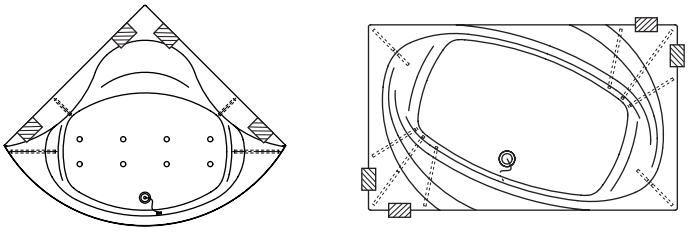
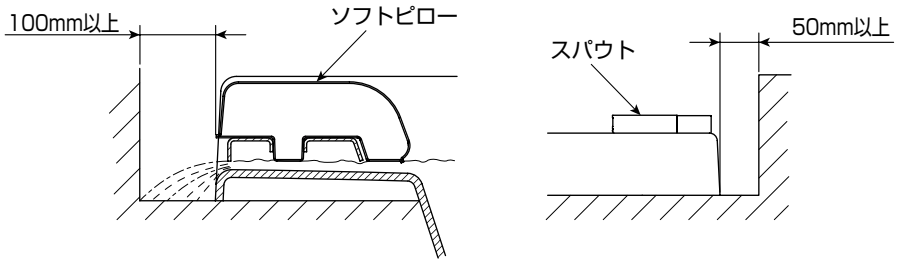


図２

浴槽外周の斜線部に
支持台を立上げてください。（4カ所程度）



●PVS1520, 1530はソフトピロー側とスパウト側の リムを壁付けしないでください 。

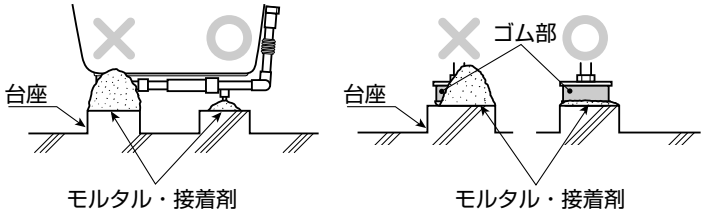


6−3 仕上げ

（1）浴槽の固定

●浴槽の据付けは、モルタルや強力接着剤にて確実に固定してください。

注 浴槽本体にモルタルや接着剤を付けないように注意してください。また、ブローバス防振ゴム脚を使用する場合は、モルタルや接着剤がゴム脚よりも下になるように固定してください。

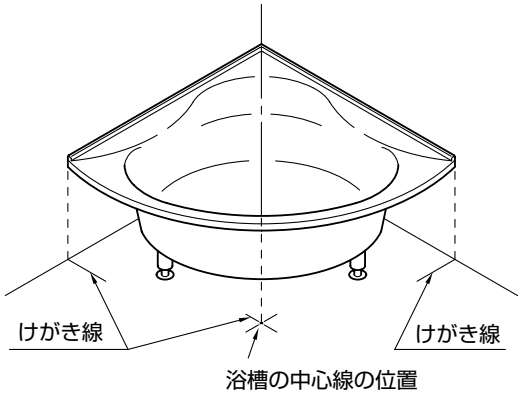


注 浴槽は屋外や常時日の当たる場所に設置しないでください。浴槽の変色の原因となります。

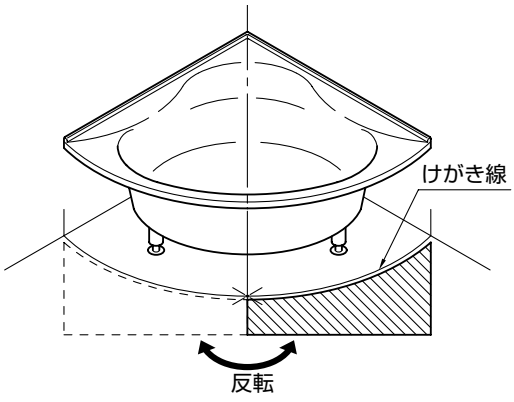
（2）ブロック・れんがなど立ち上げ工事

●だ円、扇形の浴槽は、施工を容易にするため型紙を同梱しています。型紙は、浴槽エプロン側の形状と同寸法となっていますので、エプロンを浴槽形状に合わせて施工する場合は、下記要領にて実施してください。

①据え付けた浴槽のリム下端より、垂直におろした位置をけがいてください。

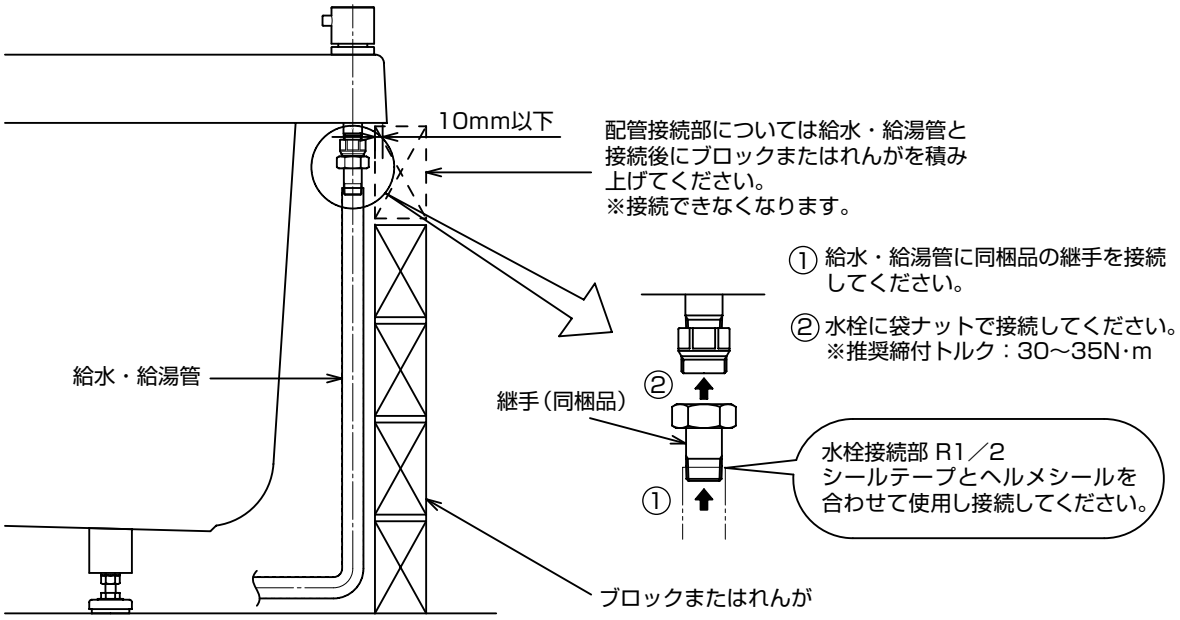


②けがき線に合わせて型紙を置き、型紙にそってけがき線を入れてください。



※ 型紙は浴槽形状の半分となっていますので、反転して残りをけがいてください。

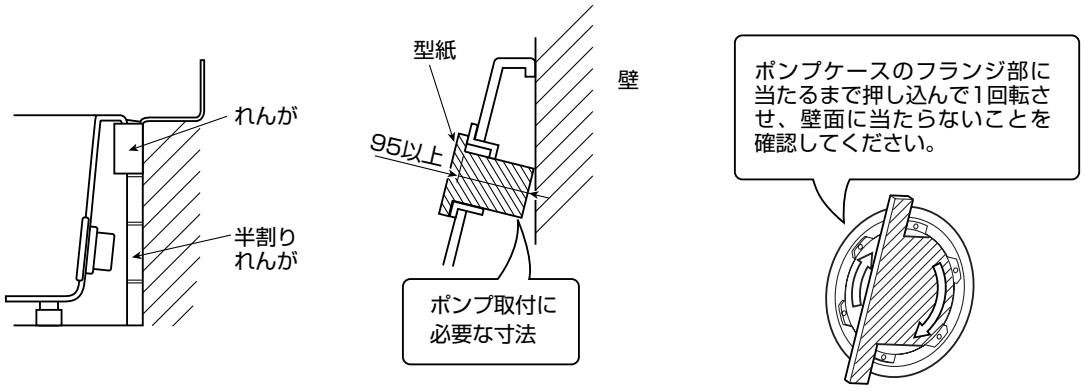
●バス水洗付浴槽は水栓と給水、給湯管の芯出しをして施工してください。水栓位置寸法はP20参照
注 湯水を逆に配管しないように注意してください。



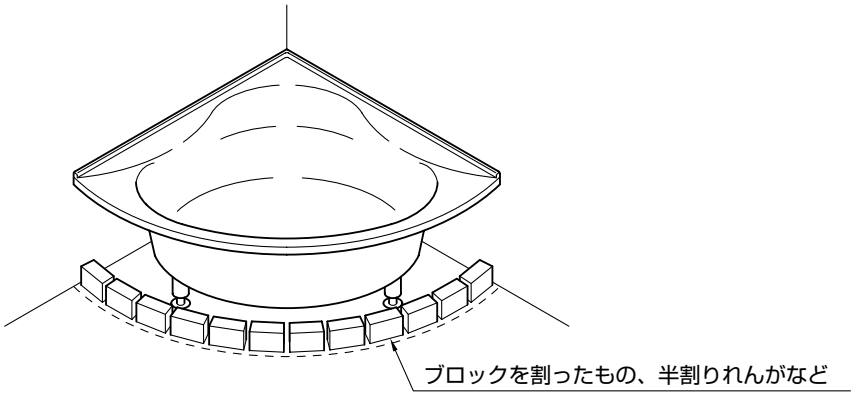
注 全周デッキを設けるように施工してください。（PVS1400を除く）

注 機能付の場合は、デッキ施工する際には接続管・水中照明照射部およびポンプモータ部に干渉しないように
半割りれんがなどでさけて施工してください。

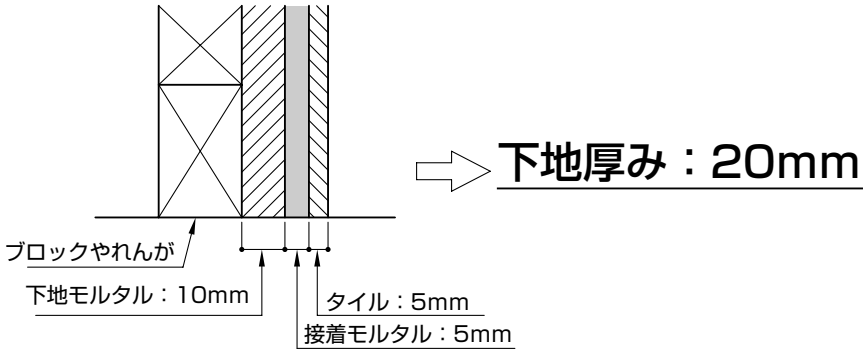
注 ブローバスSX Ⅱ付の場合、ポンプ取合確認用型紙にてポンプが干渉しないことを確認してください。



③下地の厚みを考慮して、けがき線にそって下地を立ち上げてください。



[下地厚み参考例]



※PVM・PVT・PVZ1400の「水中照明付」の場合、水中照明照射部が干渉するため、エプロンリム面一(つらいち)施工ができません。必ずデッキ部を設けてください。

(3) タイル仕上げ

⚠ 注意

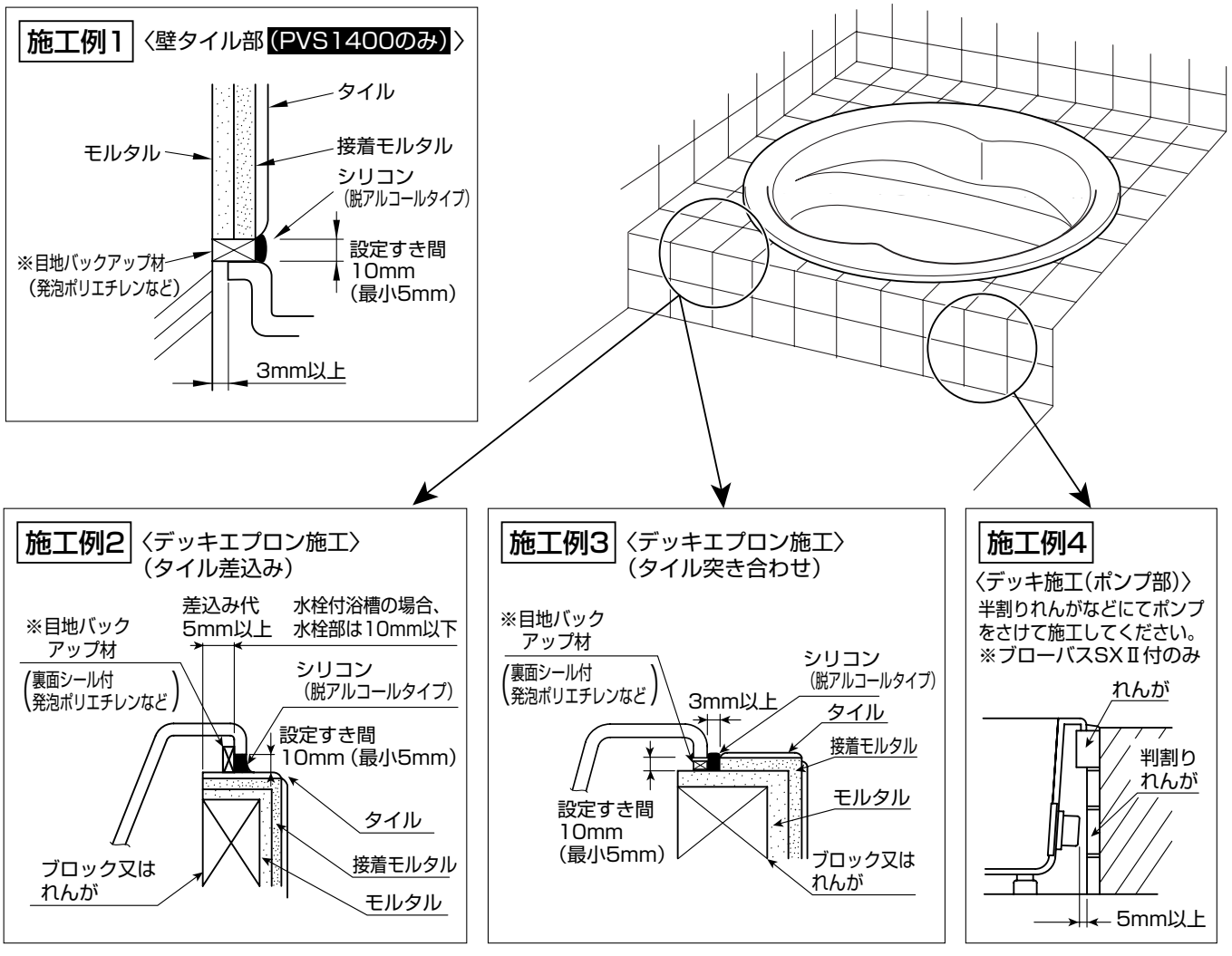
壁・タイルと浴槽との間には、すき間を設ける
また、浴槽周囲のコーキングは手順にしたがって確実に行う

必ず実行 工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。
また、ブロー運転時の騒音の原因となります。

● 全周にデッキを設けてエプロン施工およびタイル貼りしてください。(PVS1400を除く)

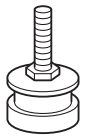
注 デッキ施工をする際は、接続管・水中照明照射部およびポンプモーター部が干渉しないように半割りれんがなどでさけて施工してください。

浴槽とタイルとの目地充てんには、(脱)アルコールタイプのシリコンをご使用ください。(メジセメントは使用しないでください)
また、施工例を参考に浴槽とタイルとの間には必ずすき間を確保してください。



※目地バックアップ材は現場にて手配願います。
またデッキエプロン施工の場合、目地バックアップ材は必ず浴槽据付け前にデッキ面もしくは浴槽リム裏面に貼り付けてください。浴槽据付け後では目地バックアップ材を入れられない場合があります。

7. 別売品

タイプ	品　　名	品　番	希望小売価格	必要数/台	形　　状	用　　途
エアブローⅡ・ブローバスSXⅡ用	ブローバス 防振ゴム脚	PZ6002 （4個入り）	￥ 23,000 （税込¥24,150）	1		エアブローⅡおよびブローバスSXⅡ運転中の作動音が階下や隣室に伝わるのを防ぐために使用します。
		PZ6048 （5個入り）	￥ 28,800 （税込¥30,240）			